Press release

Stuttgart/Tokyo, November 24, 2026

EcoVadis ゴールド評価を獲得：MAHLE、自動車サプライヤーの上位 1%にランクイン

- MAHLE は、EcoVadis によるサステナビリティ評価において、2 度目のゴールド評価を獲得
- スコアは前回から 6 ポイント向上し、100 点満点中 88 点を達成
- 「労働と人権」「環境」「持続可能な資材調達」「倫理」の 4 つの評価分野すべてでスコアが向上
- サステナビリティはグループ戦略「MAHLE 2030+」の不可欠な要素

MAHLE（マーレ）は、サステナビリティに関する取り組みが評価され、2 度目となる EcoVadis ゴールドメダルを受賞しました。MAHLE グループは 100 点満点中 88 点を獲得し、前年からスコアを 6 ポイント向上させました。この結果により、MAHLE は自動車サプライヤーの上位 1%にランクインしています。また、「労働と人権」「環境」「持続可能な資材調達」「倫理」の 4 つの評価分野すべてでスコアが向上しました。今回の結果は、グループ戦略「MAHLE 2030+」の一環として推進しているサステナビリティ目標への取り組みを反映したものです。EcoVadis は、企業のサステナビリティ評価を提供する世界有数の独立系評価機関です。

「MAHLE にとって、サステナビリティは社会的責任であるだけでなく、長期的な競争力を支える重要な要素でもあります。今回の EcoVadis 評価の結果は、当社が環境・社会・倫理に関する要件を業務プロセスに体系的に組み込んでいることを、お客さま、ビジネスパートナー、そして従業員に示すものです」と、MAHLE グループのマネージメントボードメンバーであり、サステナビリティ、環境管理、および労働安全などを担当する Georg Dietz は述べています。

「今回のスコア向上は、世界各地の数多くのチームによる共同の取り組みの成果です。各チームは、EcoVadis の評価対象となる各分野において業務プロセスの改善を継続的に進めており、その取り組みが今回の成果に大きく貢献しました」

と、MAHLE のコーポレートサステナビリティおよび労働安全衛生・環境管理ディレクターの Kathrin Apel は述べています。

MAHLE は近年、サステナビリティ活動をさらに拡大し、EcoVadis 評価を継続的に向上させてきました。今回の評価結果につながった主な要因として、サプライチェーンマネジメントの強化に加え、自動車産業のサプライヤー向けサステナビリティ監査プログラムである RSCI への積極的な参加が挙げられます。また、重要原材料のサプライヤーとの連携もさらに強化しています。

EcoVadis は、180 か国以上、250 を超える業種にわたり、17 万 5,000 社以上の企業を対象に、環境・社会・倫理面におけるパフォーマンスを独立した立場から評価しています。MAHLE の公式 EcoVadis 認定ページは、以下よりご覧いただけます。
https://recognition.ecovadis.com/xTWj3b6ob0KRjQ76r41GgQ

報道関係者の皆さまへ：本プレスリリースおよび関連画像は「MAHLE Newsroom」（https://newsroom.mahle.com/press/en/.）にてご覧いただけます。

画像の著作権：MAHLE GmbH



MAHLE は、サステナビリティ評価において 2 度目の EcoVadis ゴールドメダルを獲得



Georg Dietz
MAHLE グループマネージメントボードメンバー（サステナビリティ、環境管理、労働安全などを担当）



Kathrin Apel
MAHLE コーポレートサステナビリティおよび労働安全衛生・環境管理担当ディレクター

Contact persons for MAHLE communications in Japan:

藤川　祐子
広報部　シニアマネージャー
Phone: 050-3363-0290
E-mail: yuko.fujikawa@mahle.com

徳永　竜也
広報部
Phone: 050-3363-0290
E-mail: tatsuya.tokunaga@mahle.com

MAHLE について （本社：ドイツ／日本支社：東京都豊島区）

MAHLE（マーレ）は、今日のグローバルな自動車業界において、乗用車と商用車両分野の開発パートナーおよびサプライヤーです。 1920 年に設立されたマーレグループは、電動化と熱管理の戦略的分野に焦点を当て、将来の「Climate Neutral」なモビリティの実現に取り組んでいます。また、燃料電池や水素などの再生可能な燃料で稼働するクリーンな燃焼エンジンなど、炭素排出量をさらに高効率に削減するための技術にも焦点を当てています。

マーレは世界中約 64,000 名の従業員を 127 の生産拠点や 11 のテクノロジーセンターに配置し、28 か国に拠点を置いています。また、2025 年には約 113 億ユーロの売上を計上しました。

日本においてマーレは、幅広い専門知識を活用しながら今日まで 50 年以上事業を継続して参りました。またアジア太平洋地域の本社機能を担うことで、日系大手自動車メーカーの国内外すべてのビジネスをサポートしています。現在、日本のマーレグループは国内 17 拠点に約 2,200 名の従業員を擁しています。

マーレジャパン公式サイト： https://www.jp.mahle.com/ja/

#weshapefuturemobility